

以下、本文-----

複数施設研究用

【情報公開文書】

## ホルモン補充-凍結融解胚盤胞移植周期における着床の窓 (WOI) に影響する 因子の探索に関する疫学研究

### 1. 研究の対象

2019年から2022年の期間に、東北6大学(東北大学、秋田大学、岩手医科大学、弘前大学、福島県立医科大学、山形大学)附属病院通院中で生殖補助医療(ART)中の凍結融解胚盤胞移植を実施した方。

### 2. 研究目的・方法

ARTを実施している患者さんにおける胚盤胞移植日とART成績(臨床的妊娠率、流産率、生産率など)との関連について明らかにすること、また個別化胚移植(personalized ET)の指標となるような、胚移植までの至適時間を予測できる条件を解明することを目的としております。

2019年から2022年の期間に、東北6大学附属病院通院中のART中の凍結融解胚盤胞移植実施症例のカルテ情報および日本産科婦人科学会ART成績登録情報から、胚移植日とART成績との関連、基礎特性別の胚移植日とART成績との関連を後方視的に検討します。

研究実施期間:研究実施許可日～2026年3月31日

提供を開始する予定日:2024年1月5日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:カルテ番号、生年月日、イニシャル、性別、身長、体重、妊娠分娩歴、既往歴、治療歴、検査結果データ等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究分担者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

東北大学医学系研究科 周産期医学講座 立花真仁

既存試料・情報の提供のみを行う機関

秋田大学医学部附属病院 岩澤 卓也

岩手医科大学附属病院 尾上 洋樹

弘前大学医学部附属病院 福原 理恵

福島県立医科大学附属病院 菅沼 亮太  
山形大学医学部附属病院 竹原 功

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：秋田大学医学部附属病院 産科婦人科 医員 岩澤 卓也

住所：秋田市本道 1-1

連絡先：018-884-6163

[iwasawat@med.akita-u.ac.jp](mailto:iwasawat@med.akita-u.ac.jp)

当院の研究責任者：秋田大学医学部附属病院産科婦人科 教授 寺田幸弘

研究代表者：東北大学医学系研究科 周産期医学講座 准教授 立花真仁

-----以上